

貸 借 対 照 表

(令和 7 年 8 月 31 日現在)

A L H株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	2, 426, 291	流 動 負 債	1, 226, 498
現 金 及 び 預 金	940, 578	買 掛 金	104, 740
売 掛 金	1, 257, 153	未 払 金	112, 645
仕 掛 品	12, 465	未 払 費 用	570, 915
契 約 資 産	11, 412	未 払 消 費 税 等	164, 927
前 払 費 用	40, 646	預 り 金	168, 026
未 収 入 金	5, 531	賞 与 引 当 金	3, 880
未 収 法 人 税 等	46, 337	関係会社短期借入金	79, 992
関係会社短期貸付金	100, 000	1年内返済予定長期借入金	19, 500
そ の 他	12, 167	そ の 他	1, 869
固 定 資 産	435, 972	固 定 負 債	235, 176
有 形 固 定 資 産	87, 450	関係会社長期借入金	220, 018
建 物 附 属 設 備	64, 807	長 期 未 払 金	9, 742
工具、器具及び備品	19, 698	退職給付引当金	5, 305
一 括 償 却 資 産	1, 695	そ の 他	110
リ ー ス 資 産	27, 462	負 債 合 計	1, 461, 674
減 価 償 却 累 計 額	△26, 211	(純資産の部)	
無 形 固 定 資 産	187, 814	株 主 資 本	1, 400, 588
の れ ん	127, 156	資本金	9, 000
ソ フ ト ウ ェ ア	5, 953	資本剰余金	617, 827
顧 客 関 連 資 産	54, 704	資 本 準 備 金	1, 000
投資その他の資産	160, 706	そ の 他 資 本 剰 余 金	616, 827
敷 金	51, 344	利益剰余金	773, 761
保 険 積 立 金	4, 924	そ の 他 利 益 剰 余 金	773, 761
繰 延 税 金 資 産	104, 343	繰越利益剰余金	773, 761
そ の 他	93	(うち当期純利益)	(40, 647)
		純 資 産 合 計	1, 400, 588
資 産 合 計	2, 862, 263	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2, 862, 263

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

【個別注記表】

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式および関係会社株式・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品・・・・・・・・個別原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております）

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

（ただし建物附属設備については定額法を採用しております）

無形固定資産 定額法

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失の発生に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金・・・・・・・・従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当該事業年度に負担すべき金額を計上しております。

退職給付引当金・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額の金額に基づき計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

システム開発事業においては、ソフトウェア開発・システム開発及び保守サービスの提供を行っております。ソフトウェア開発・システム開発に係る収益は、支配が顧客に移転した時に認識しており、原則として顧客の納品確認に基づき一時点で認識しております。保守サービスの提供に係る収益は、主にソフトウェア等の保守であり、顧客との保守契約に基づいて保守サービスを提供する履行義務を負っております。当該保守契約は、一定の期間にわたり充足される履行義務であり、履行義務の充足に応じて収益を認識しております。

当社が代理人として商品の販売に関与している場合には、純額で収益を認識しております。

(6) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 税抜方式によっております。